

ケアホームさくら荘 家庭のぬくもりそのままに・・

ドライブ

4月のある日、木花運動公園の裏にある「木崎ヶ浜」へドライブに行ってきました。雲ひとつ無いとても澄み切った青空の下、風はあいましたがとても暖かな日でした。利用者様もスタッフも、目の前に広がる海を眺めながら「は～気持ちがいい～」と一言。おやつを食べ、日南海岸をゆっくりと楽しんでいただきました。



さくら荘



4月20日、待ちに待った「さくら荘」リニューアルオープンを迎えました。(既存の建物のリフォームはこれからですが・・・)ここに居ても木の香りが香ってきて、とても落ち着く空間です。全部屋に「電動ベッド」「マットレス」「ダンス」「エアコン」を完備、浴室は、個浴2つ、特殊浴槽1つを装備しています。特殊浴槽は、専用のクライニング式チェアを使い、背もたれを60度まで倒した状態で入れる為、寝たきりでなかなか湯船に浸かれない方も、ゆっくりとお風呂を楽しんでいただけたと思います。これから新しいさくら荘で、利用者様と沢山の思い出を作っていきます。



社長による職員紹介

今回は、ケアホームさくら荘所属の介護職、入社2年目に突入した川野さんの紹介です。飲食店やパチンコ店のホールスタッフにて接客業を経験し、人との関わりを楽しさを覚えた彼女、身近な高齢者との関わりで愛おしいと感じている自分に気づいた時、介護の世界に挑戦してみようと思った。実際に入職して1年で様々なギャップを感じたが、自分がケアすることで入居者様の生活が成り立っていることに誇りと責任を感じると共に、やりがいにもなっている。そして何より、自分が笑顔で楽しんで仕事をすることで入居者様を笑顔にしたい！！と日々、強い信念を持って取り組んでいる。そんな彼女のプライベートは、5歳になる溺愛する長女の煌愛(きあら)ちゃんと旦那さまと公園に行ったり、お買い物に行ったりと、ごく普通のことに幸せを感じながら生活しているとのこと。そして、大のお酒好き！！この歳で毎日晩酌・・・しかも結構な量を飲むらしい・・・おやじか！！笑。いつも笑顔で明るく、テキパキと仕事をこなす川野さん。今後も変わらず仕事もプライベートも楽しく両立を目指しており、介護福祉士取得！！男の子が欲しい！！が今の目標だ。今後もさくら荘のムードメーカーとして更なる活躍を期待したい！！

川野 葉里さん



社是 「利他の心」

びじりにズームイン！！

令和元年 5月号

ダブルケアをご存知でしょうか？

そして、それを支えるシステムが不完全なことも！！

ダブルケアとは、介護と子育てが同時に行われている状態を指す言葉です。

少子高齢化が進む中、女性の晩婚化と核家族化は当たり前のことになっています。また、夫婦の兄弟数の減少により、親の介護の担い手が減少していることもダブルケアの増加の要因となっています。

子育てと介護の両立を支える仕組みがない

行政は、介護、子育て、障害など、基本的には縦割りの状態にあります。そのため、ダブルケアがはじまると、複数の窓口(制度)を行ったり来たりすることになり疲弊してしまいます。

最も苦しい精神的不安

ダブルケアには精神・体力・経済の3つの負担がありますが、「精神的負担」が最も辛いと言われます。

そこで、ケアをしている人を支えるシステムの構築が大切になってきています。
(ケアをしている方をケアラーと呼び、支えるシステムを作ろうとする動きはあります)

ケアラーを「家族等無償の介護者」として以下のように定義しています。

- ◎病気の家族を看病し、気にかけている
- ◎高齢者や障害のある家族をケアしている
- ◎遠方に住む親を気にかけている
- ◎ひきこもりや不登校の家族をケアしている
- ◎近所のお年寄りの手助けをしている
- ◎依存症などの問題をもつ家族を抱えている
- ◎障害のある子どもを育てている

つまりケアラーとは、高齢者の介護だけではなく、看病・療育・世話・こころや体に不調のある家族への気づかいなど、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のことをいう。インフォーマルケアの担い手です。

今後の課題として、ケアをする人をどう支えていくのか。今までは、仕事と子育ての両立、あるいは仕事と介護の両立が問題とされてきました。今度はさらに、子育て・介護・仕事の両立問題が加わってきます。各家庭だけでは立ち行かなくなり、社会問題になっていきます。有限会社聖としては、介護を支えることしかできませんが今後の福祉問題をどう向き合っていくのか考えていきたいと思ひます。

※「ダブルケア」という言葉は横浜国立大学の相馬直子教授と英国・ブリストル大学の山下順子上級講師が共同研究を進める中で生まれた造語です。

有限会社 聖

- 住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥 (通所介護)
- 住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘 (訪問看護)
- デイサービス陽だまり (居宅介護)
- 訪問看護ステーション翔 (訪問介護)
- ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
- ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

新たに、河野 文子さん、大泉 直美さん、西村 裕幸さんが入社になりました。さくら荘はまだ完全リニューアルしていませんが利用者様が数名入所されました。利用者様も、環境が変わり落ち着かなかつたり、スタッフも配置が変わり要領がうまくいかなかつたりですが、徐々に慣れてくることと思ひます。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

4月3日に、加納地区交流センターに、お花見に行ってきました！桜は、五分咲きで、風が冷たかったですが、天気が良く、気持ちの良いお花見になりました。ご利用者様は、何日も前から楽しみにされており、当日は、お花見弁当を、美味しく食べられておりました。ノンアルコールビールも飲まれて、満足そうな笑顔も見られました。また、移動のマイクロバスの中では、歌を歌ってくださるご利用者様もいたので、大盛り上がりでした。日焼けをしました、皆様の笑顔を見る事が出来て、良かったなと思えるお花見でした。



【訪問看護ステーション翔からのお知らせ】

4月より梶佐古真優(かじさこ まゆ)さんが入職されました。介護福祉士の免許を持ちその後、作業療法士となり現在に至っています。とても優しくいつもニコニコしているので訪問看護の雰囲気も更に明るくなりました。訪問看護では一番若く平均年齢もぐーんと下がりました。お子さんもまだ小さく保育園に預けての勤務となりますのでワークバランスを考え若いママでも働きやすい職場にしていきたいと思っております。そして私達も若さのパワーをもらいながら利用者さまへ貢献できたらと思っております。よろしくお願いいたします。

☆みんなで桜の花を咲かせました☆



さて、どこに貼りましようか。

音楽療法の時間、春の音色を聴きながら、みんなで桜の木に花を貼り付けていきました。紙製の桜でしたが、とてもきれいに咲きました。

このへんにも咲かせましよう。

さかどんどんね。さかどんどんね。

風船バレーでハッスル!!

風船バレーの時間はみなさん、とてもいきいきされ、一生懸命にプレーされています！



ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

5月1日から令和元年がスタートします。早くも改元に便乗した、詐欺被害は発生しています。国民生活センターによれば、全国銀行協会など、実在する団体名で封書が届き、「改元に合わせて銀行法が変わるので、銀行口座情報や暗証番号を記入したキャッシュカード変更申込書を返送して下さい」などと指示する。注文していないのに、皇室の写真集が代引きで送りつける手口も存在する。今後便乗した詐欺や強引な勧誘はさらに増える恐れがある。国民生活センターでは※絶対銀行口座情報は教えず、見覚えのない商品が届いたら受け取り拒否をしましょう。悩まず直ぐ国民生活センターに相談しましょう。